

**ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル 200mg/g・水酸化アルミナ  
マグネシウム 400mg/g・沈降炭酸カルシウム 200mg/g 顆粒  
Ethyl *p*-Piperidinoacetylaminobenzoate 200mg/g, Magnesium  
Hydroxide-Aluminium Hydroxide Co-Precipitate 400mg/g and  
Precipitated Calcium Carbonate 200mg/g Granules**

**溶出試験** 本品約 1g を精密に量り，試験液に崩壊試験法の第 1 液 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験を開始し，規定時間後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 2mL を正確に量り，崩壊試験法の第 1 液を加えて正確に 50mL とし，試料溶液とする．別にピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル標準品をシリカゲルを乾燥剤として 3 時間乾燥し，その約 0.022g を精密に量り，メタノールに溶かし，正確に 100mL とする．この液 4mL を正確に量り，崩壊試験法の第 1 液を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，崩壊試験法の第 1 液を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 269nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル( $C_{16}H_{22}N_2O_3$ )の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

$W_S$ ：ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル標準品の量(mg)

$W_T$ ：ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル・水酸化アルミナマグネシウム・沈降炭酸カルシウム顆粒の秤取量(g)

$C$ ：1g 中のピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル( $C_{16}H_{22}N_2O_3$ )の表示量(mg)

溶出規格

	表示量	規定時間	溶出率
ピペリジノアセチル アミノ安息香酸エチル	200mg/g	30 分	75% 以上

**ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル標準品** 「ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル」．ただし，乾燥したものを定量するとき，ピペリジノアセチルアミノ安息香酸エチル( $C_{16}H_{22}N_2O_3$ )99.0% 以上を含むもの．